

## 第三者評価結果

### A-1 保育内容

|  |   | 第三者評価結果 |
|--|---|---------|
| A-1-(1) 保育課程の編成  |   |         |
| 【A1】   | A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。 | b       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な計画は児童福祉法、保育所保育指針の趣旨をとらえ、設置法人の企業理念、保育理念、方針、保育目標に基づき作成しています。全体的な計画は「目指す保育のポイント」「保護者支援・地域との関わり」「小学校との連携」「支援児」「長時間保育」などの記載欄があり、子どもの発達過程、家庭環境、地域の実態を考慮した内容となっています。</p> <p>全体的な計画は、「チームブック保育」の取り組みを踏まえて、園長と主任が主に作成しています。作成にあたり、全職員の話し合いや検討が期待されます。全体的な計画は、期ごと及び年度末に、見直して次の作成に生かしています。</p>   |   |         |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開   |   |         |
| 【A2】   | A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。                  | b       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園がある大型ショッピングモールの全館空調、換気設備以外に、室内のエアコン、加湿器、空気清浄機、扇風機を利用しています。楽器、音楽CDなどの音量、保育者の声の大きさなどに配慮しています。</p> <p>日常的な清掃と安全チェックをしています。今年度は特に新型コロナウイルス感染症予防のために、おもちゃ、備品類の消毒を徹底し、散歩用バギー手すりカバーは使用するたび洗濯しています。家具、遊具の素材は、安全性に配慮しています。0～3歳児クラスの床はコルク材です。机、仕切りなど保育活動に合わせ配置しています。子どもがくつろいで過ごしたり、落ち着ける場所の工夫が期待されます。</p> <p>その日の活動を考慮して、活動、食事、睡眠の場を分けたり、机、低い棚などでコーナーを工夫しています。手洗い場、トイレは子どもが使いやすい高さとなっており、低年齢用では、手すり、足台なども用意し職員が見守り、安全に使用できるようにしています。</p> |   |         |
| 【A3】   | A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。                         | b       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園前に保護者から提出してもらった「児童票」や入園前個人面談から家庭環境や子ども一人ひとりの特徴を把握しています。生活リズムは連絡用アプリケーションソフトや保護者との会話からも把握しています。0～2歳児クラスは個別指導計画を作成しています。幼児についても個人差や性格を考慮し、個別指導計画を作成したり、週案・日誌に記録しています。日頃から、子どもの個性や状態を職員間で共有しています。子どもが安心して、自分の気持ちを表現できるような関係づくりに努めています。</p> <p>子どもの態度や表情から判断したり、どちらか選べるような質問をしたり、気持ちを代弁するなどして、気持ちを汲み取っています。子どもには、ゆっくりと分かりやすい言葉で活動の目安やルールなど話しています。イラスト、絵カード、日課表掲示など利用し視覚でもとらえやすいようにしていますが時間に追われて、せかしてしまう場合もあります。</p>               |   |         |

|   |   |   |
|---|---|---|
| 【A4】  | A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。                   | b |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの年齢、発達状況に合わせ、保護者と連携をとり、基本的な生活習慣が身につくようにしています。住居設備や日常生活が、便利になっている分、色々な体験が必要と考えています。着替え、靴着脱、手洗いうがい、片付けなど時間がかかっても、自分でやろうとする気持ちを尊重し見守るようにしています。しかし、場面によっては、職員が先回りしてやってしまったり、日課の時間、順番を優先してしまうこともあります。</p> <p>季節、活動内容、一人ひとりの心身の状況に応じて、休息、午睡の時間を調整しています。眠くない子どもには横になり、体を休める事が大切であると伝えています。年長児は12月から午睡を一斉活動としていません。日常保育の中で看護師が生活習慣や病気について話をしています。クラスの活動の中で職員が健康や生活習慣に関するテーマの絵本、紙芝居などを利用して、子どもが理解できるようにしています。</p>    |   |   |
| 【A5】  | A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。             | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育室内に子どもが自由に取り出し、片づけられるように玩具、絵本類などが準備されています。毎日の散歩では、行先の公園やコースを工夫しています。室内では、運動用キットの利用や、広い廊下で体を動かす遊びをしています。</p> <p>合同保育時間帯、園行事で異年齢で交流するほか、日常的に交流しています。友だちと話したり、遊びを一緒にしています。発表会、夏祭りのお神輿について、話し合い、一緒に作り上げたりしています。遠足で公共交通機関を利用し、マナーを学んでいます。交通安全教室に参加しています。園がある大型ショッピングモール内の散歩では、一般客や店に迷惑にならないように気をつけています。園外活動で自然を楽しんでいます。テラスで夏野菜を、室内で貝割れを栽培したり、かぶと虫を飼育しました。商業施設内イベント広場での催事、公園掃除に定期的に参加しています。地域の消防署、警察署を訪問しています。</p> |   |   |
| 【A6】  | A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | b |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一人ひとりの生活パターンや体調を把握し、個別に対応しています。活動や食事など子どものペースを尊重しています。保育室内の狭いスペースでの備品、家具配置、整理のさらなる工夫が期待されます。入園直後は、なれ保育を行っています。同じ保育士が一対一に対応しています。なれ保育後も、職員シフトを考慮し、ほぼ個別対応ができています。</p> <p>子どもの表情、仕草をよく見て、子どもの思いや意向を汲み取るようにしています。ゆったり子どもと関わっています。肌ざわりの良い布製おもちゃ、ぬいぐるみ、音を楽しむおもちゃ、手作りおもちゃ、手指を使うおもちゃ、絵本などを用意しています。一人ひとりの、はう、つかまり立ち、歩くなどの時期に応じ、安全性に配慮し、机や低い棚を置いたり、廊下を遊びや運動の場に使うなど工夫しています。保護者とは送迎時の会話、連絡用アプリケーションソフト、個人面談で連携を図っています。</p> |   |   |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 【A7】  | A-1-(2)-⑥ 1歳以上3歳児未満の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子ども一人ひとりの気持ちや思いを受け止め、無理にやめさせたり制限はせず、助言や見守りを心がけています。保育室内で自由遊び時間帯に、好きな遊びに熱中しています。戸外活動の公園などで、走り回ったり、季節ごとの風情を感じたり、虫などを見たり触れたり、葉っぱやドングリ集め、茂みの中を探索するなどしています。子どもの自我の育ちを受け止め、個々に対応できるようにしています。友だちとの関わりには、子どもの気持ちを代弁したり、声掛けしたりして、一緒に楽しく活動できるようにしています。</p> <p>合同保育時間、園行事、日常的な交流により、異年齢の子ども同士の関わりがあります。調理担当職員が子どもの様子を見に、クラスに入ることもあります。保育参加、保育参観で友だちの保護者がクラスの活動に入っています。保護者とは、送迎時の会話、連絡用アプリケーションソフト、個人面談で、家庭と連携をとっています。</p>         |  |   |
| 【A8】  | A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。     | b |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳児の保育では、自分の興味を持った遊びや活動ができるようにスペース確保やコーナーを設定しています。4、5歳児はクラス合同で一緒に活動しています。4歳児の保育では、友だちと一緒に楽しめるように、活動の目的やルールを分かりやすく説明しています。年長児へのあこがれや、目安を持ち、自信につながるように援助していますが、現状では不十分な面があります。5歳児の保育では、一人ひとりの個性を活かし、ルールのある遊びを楽しんだり、友だちと協力し合って、制作物を作ったりしています。保育園でこれまで一緒に過ごしてきたので、友だちのことを理解できるようになってきています。</p> <p>子どもが取り組んできた活動などはおたよりや写真等を用い連絡用アプリケーションソフトで伝えています。作品は、園内に飾っています。運動会や発表会は、日ごろから保育活動の中で行っていることを活かすようにしています。</p>             |  |   |
| 【A9】  | A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。                    | b |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園(3階)まで商業施設は異なるエレベータが利用できます。園玄関、共有部分、保育室に段差はありません。園がある大型ショッピングモールフロア内の多目的トイレが利用できます。障害の特性を考慮した個別指導計画を作成しています。個別指導計画に基づき、職員間で具体的な対応を確認し、援助しています。子ども同士の関わりについては、誰でも苦手な事があると伝えたり、職員が仲立ちとなるようにしていますが、難しい面もあります。</p> <p>保護者の意向や気持ちに寄り添いながら、様子を伝えあっています。必要に応じて、川崎市中央療育センター、民間の発達支援アドバイザー、設置法人系列の児童発達支援部門と連携し、巡回相談や助言を得ています。職員は、障害や発達の遅れなどのテーマの外部研修を受講しています。職員会議で内容を発表したり、資料を回覧しています。障害のある子どもの保育についての情報を保護者には伝える事はしていません。</p> |  |   |

|   |   |   |
|---|---|---|
| 【A10】   | A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。            | b |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>登園から降園まで、連続性に配慮し、無理がないように日課を作成しています。その日の状況、体調などに配慮し、柔軟に計画を変更しています。一部のクラスでは、畳、ソファ、区切られたコーナー、時間により家具配置の変更などがありますが、常時ゆっくり落ち着いて過ごせる環境整備には至っていません。</p> <p>日常的に異年齢で交流しています。延長時間帯は、現在は利用人数が少ないため、ゆったりとした時間を過ごしています。保育時間の長い子どもに配慮し、給食・おやつ・夕方補食を提供しています。</p> <p>子どもの状況について「年間指導計画」「月間指導計画」に長時間保育についての記載欄があります。保育士間での引継ぎは、「健康観察記録」を利用するほか、毎日昼礼を行っています。連絡用アプリケーションソフトで、保護者とやり取りをしています。新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者に直接、子どもの様子を伝える機会は減っています。</p> |   |   |
| 【A11】   | A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体的な計画に「小学校との連携」欄があります。また「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を記載しています。5歳児クラス年間指導計画に「地域・小学校との連携」の項目があり、目安、実施内容を記載しています。地域の年長児交流会に参加し、公園掃除や、一緒にゲーム、リレーをするなどしています。年長児が小学校を訪問し、1年生と一緒に遊んだりする機会があります。運動会は近隣の小学校体育館を借りています。</p> <p>施設長が幼保小連絡会議、職員が年長児担当者会議等に参加して得た情報を、保護者に懇談会、個人面談、クラスだよりなどで伝えています。小学校の授業参観に職員が参加し、授業参観後に小学校教員との懇談会があります。年長児担当職員が「保育所児童保育要録」を作成しています。施設長・主任が確認後、就学予定校へ、原則持参し引継ぎを行っています。</p>   |   |   |
| A-1-(3) 健康管理  |   |   |
| 【A12】   | A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。                              | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>健康管理に関するマニュアルを整備して対応しています。健康状態は、毎朝の保護者からの聞き取り、通信アプリケーションソフト、保健日誌、昼礼での報告などで、把握しています。子どもの体調悪化時は保護者に迎えに来てもらったり、園から医療機関に行くこともあります。軽症や小さなケガは、お迎え時に伝え、受診を勧めたり、翌日様子を確認しています。</p> <p>看護師が「年間保健計画」を作成し、毎月見直しています。入園後の既往症、予防接種は、保護者から連絡してもらい、看護師がまとめています。入園説明会や保護者会で「ご利用案内」「重要事項説明書」をもとに健康に関する方針などを伝えています。保育の中での取り組みは、園だより、給食だより、保健だよりで伝えています。乳幼児突然死症候群について、職員は内部研修で学んでいます。予防対策として、呼吸チェックを実施・記録しています。保護者には、入園前説明会で説明しています。</p>         |   |   |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 【A13】   | A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。                        | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>内科健診は0、1歳児クラスは年6回、2歳児以上は年3回実施しています。歯科健診は年1回実施しています。内科健診結果は連絡用アプリケーションソフトで伝えています。歯科健診結果は書面で渡しています。毎月の身長・体重測定結果は「園児健康管理表」に記入し、保護者に伝えています。看護師が健診結果などを取りまとめ、記録と保管管理をしています。保健計画をもとに、毎月の計画、目標を立てています。健診結果を参考にし、保護者に受診を勧めたり、状況により感染症予防対策の徹底や、手洗い指導など保育に反映させています。</p>  |  |   |
| 【A14】   | A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>アレルギー疾患について、かかりつけ医の判断に基づき対応しています。食物アレルギーは、保護者、調理担当職員、担任と連携を取り、除去食を提供しています。ぜんそくなどの慢性疾患がある場合は、普段飲んでいる薬を確認しています。気管支拡張薬を貼って使用する場合は、名前を書いたものを自宅から貼ってきてもらっています。除去食提供時、配膳時に職員間で確認しあっています。除去食は、名前、アレルゲンを書いたテープを貼ってある個別トレイにのせ、ラップをかけて配膳しています。食器、トレイは、ほかのお友だちと色違いのものを使用しています。食事は、定位置の別テーブルでとり、職員がつき誤食防止を図っています。アレルギー疾患、食物アレルギーなどの外部研修に職員が参加しています。</p>  |  |   |
| A-1-(4) 食事  |  |   |
| 【A15】   | A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫している。                          | b |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年間食育計画があり、野菜に触れる、トウモロコシ皮むき、クッキー、お団子づくりなどを楽しんでいます。食事は机を配置し、友だちと一緒に食事しています。職員はマナーや食材の話もしながら年齢に応じて援助したり、皆で楽しく食べられるようにしています。年齢に応じクラスの当番が、配膳や挨拶をしています。食器は、強化磁器を使用しています。年齢に応じた大きさや、皿の深さの違うものは準備していません。少食や苦手なものがある場合、少しでも食べられたらほめています。初めから、量を減らす場合もあります。職員は行事食や、献立名の由来などを伝えています。ガラス扉ごしに調理室が見え、調理に関心が持てるようになっていきます。お便りや給食日より季節の食材や献立のポイントを伝えています。玄関ホールに給食サンプルを展示しています。玄関に置いているレシピの情報提供は保護者に好評で、用紙がすぐになくなります。</p> |  |   |
| 【A16】   | A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。                | a |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>献立は2週間ごとのサイクルメニューとなっています。体調が悪い場合、離乳食の段階を一段階戻すことや、牛乳を麦茶に替えるなど対応しています。子どもの食べる量や好き嫌いはクラス担当職員が把握しています。残食は調理担当が記録しています。給食会議でクラスの様子や、献立について話し合い、次回のメニューに反映させています。献立は、季節、行事、郷土料理などを取り入れています。調理担当職員がクラスをまわり、食事の様子を見えています。管理栄養士が栄養素についてや、行事食について話をする機会もあります。食材は、設置法人で契約している業者から、毎日搬入されています。衛生管理、食材管理を徹底しています。食材の産地名を書いたリストを玄関ホールに掲示しています。</p>   |  |   |

A-2 子育て支援

|   |  | 第三者評価結果 |
|---|--|---------|
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携   |  |         |
| 【A17】   | A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。                | a       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>登園時に職員が、保護者から家庭での子どもの様子を聞いています。降園時に、園でのその日の様子、トピックなどを口頭で伝えるよう努めています。全員、アプリケーションソフトを利用し、日々の様子、活動内容、家庭での様子を保護者とやり取りしています。</p> <p>保育の意図や保育内容について、クラスだよりや行事案内、懇談会、個人面談などで分かりやすく説明したり、伝えています。各行事ごとにアンケートをとり、保育内容についての理解度を把握したり、意見・要望を聞いています。</p> <p>保護者が参加しての園行事、保育参加・保育参観など、子どもの成長を感じてもらえる機会となっています。年2回のクラス懇談会ではクラスのこれまでの様子や、現在の様子、これからの目安などを伝えています。</p> |  |         |
| A-2-(2) 保護者等の支援   |  |         |
| 【A18】   | A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。                   | a       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者とは、日ごろから、コミュニケーションを良くとるように努めています。保護者が、担任以外のどの職員とも話しやすい雰囲気を作るように心がけています。個人面談時のほか、いつでも保護者からの相談を受け付けています。職員から声掛けし、機会を設けることもあります。</p> <p>相談内容は、「個人面談記録」に記録しています。会議、昼礼などで職員間で共有しています。内容により施設長、主任が、相談を受けた職員に助言したり、保護者に対応する場合があります。</p>  |  |         |
| 【A19】   | A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>虐待対応や、人権尊重に関するマニュアルがあり、早期発見の大切さを理解しています。登園時に子どもの様子を観察する、着替え時に皮膚の状態や身体状況をさりげなく確認する、持ち物の確認などから、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めています。</p> <p>虐待の疑いや、虐待が明白になった場合には、中原区児童家庭課、川崎市中央児童相談所と連携をとる体制となっています。見守りや、家庭支援が必要な場合には、保護者の心身状態を見ながら、声掛けを工夫したり、ゆっくり話ができる機会を作ったりしています。</p>   |  |         |

A-3 保育の質の向上

|   |   | 第三者評価結果 |
|---|---|---------|
| A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)  |   |         |
| 【A20】   | A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | b       |
| <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員は「年間指導計画」「月間指導計画」「週案・日誌」で定期的に振り返り、見直しをして記載欄に記入しています。振り返りの中で、自己評価を行い、配慮事項、子どもの姿、今後に向けての援助など見直し、記録しています</p> <p>職員は2ヶ月ごとに、「月報」を施設長に提出しています。個別の目標設定や振り返りを記録し、次につなげるようにしています。職員間で、自己評価をもとに、話し合ったり、学びあう機会は作れていません。職員の自己評価や「月報」は、施設長が確認し、保育所としての課題を抽出しています。</p> |   |         |